

## 春に向かって ～すべての人々は「宙船」だ！～

「その船をこいでいけ おまえの手でこいでいけ

おまえが消えて喜ぶものに おまえのオールをまかせるな」

これは中島みゆきが作詞作曲した「宙船(そらふね)」の冒頭部分です。私がかつて国語の授業で自分の好きな歌詞というテーマで授業をしたとき、自身の好きな歌詞として紹介しました。TOKIO が歌っていたので知っている人もいるでしょう。

この歌は何もかもが嫌になったり孤独にうちひしがれたりするとき、心を奮い立たせる自分を励ます歌となり、その後もことあるごとに思い出しました。オールとは船をこぐ道具のことです。「自分自身という船を前に進めていけるのは、決して他人ではなく自分しかいない。ましてや自分を排除しようとしている者にその大事なオールを渡してはいけない!」、といった強いメッセージがこめられているのです。

歌詞ではこう問いかけられます。

「その船は いまどこに ふらふらと浮かんでいるのか いまどこで ぼろぼろで進んでいるのか」

「その船は 自らを宙船と忘れていいのか 舞い上がるその時を忘れていいのか」

宇宙に、未来に、浮上していける力をもった船、でも船自身がそれを自覚していないと大きな世界に進んでいけないのです。くたくたで氣力を失っているときは、なかなか自分自身の可能性を信じる事ができないけれど、「すべての港が灯りを消して黙り込んでも」、やはり自分自身の手でこいでいけ、と歌詞は続きます。

激しい歌であり、この強い生き方にはとまどいがある人もいると思います。でもどんな厳しい状況におかれても、自分のオールをしっかり握って進んでほしいと思うのです。その行き先がまずは家族や友人のいる安らぎの場であってもかまいません。でも今舞い上がるその時だと思ったときは、自力で浮上できる力を蓄えておいてください。近年中学生の自殺のニュースが増えてしまいました。すべての人々が自分のオールを離さないよう、願わずにはられません。

\*

\*

3年生は卒業まで数えるほどになりました。義務教育9年間からの卒業は、人生の大きな節目のひとつです。中学校の集大成としてのこの日を、みんながどんな風に迎え、どんな風に完成するのか、誰もが楽しみにしています。また、すでに終わった私立入試に続いて9日には公立入試を控えています。もう進路決定できた人も、これからの人も、気を抜かずに学習に励みましょう。今できることは何なのか、それを投げ出さないことが「宙船」をいつか浮上させることにつながるのです。

2年生は来年の自分を思い描いて式に参加してください。自分は一年後にどんな姿でそこに立っていたいのか、それがこれから一年間の目標になるはずですが、1年生は卒業式に出席することはできませんが、先輩たちがしっかり式にのぞみ、何か大事なものを得たことを理解し、これからの中学校生活を大切にしていけることを考えておいてほしいです。

最後になりましたが、本号が今年度の最終号です。この一年、保護者のみなさまには、本校の教育活動にご理解とご協力いただきましたことに感謝申し上げます。 (校長 西田敦子)



## 新入生保護者説明会(2月1日)



2月1日に新入生の保護者を対象にした学校説明会を行いました。事務的な内容以外は先日実施した「教育課程説明会」で話したとおりの内容です。説明会前には、日常や行事での様子をスライドショーで紹介しました。二中学生の活気あふれる姿に集まった保護者は感心していました。

## 第2回つなぎング(2月2日)



2月2日に「第2回つなぎング」を実施しました。小6生は、グループ学習を中心にした社会や様々な種類の体づくり運動を中心にした体育をはじめ、教科の授業を受けました。その後、体育館で生徒会から二中の生徒会活動をはじめ学校生活の様子などについての説明を聞きました。入学まで2ヶ月あまりとなり、少し緊張した様子でした。

## 2つの「じいつ」～生徒会自治の向上を目指して～



本年度の生徒会活動のまとめを踏まえて今後の活動のあり方について、生徒会担当の先生、生徒会本部役員、各委員会の委員長が集まって協議しました。

学校の「生徒会活動」は何のためにあるのか。学校には「学校教育目標」や「めざす生徒像」があり、その目標達成に向かって日々活動しています。生徒会活動においてもこれらを目指し、連動しながら自発的に協力しながら活動していくことが大切です。やりたいことだけをやるのではなく、目標や生徒みんなのことを考えながら取り組まなくてはなりません。2つの「じいつ」を目指し、全体のことを考えながら具体的な活動を計画し実行に移していくことはとても難しいことかもしれません。しかし、そのことを意識して取り組む姿勢こそが生徒会自治の向上につながり、みんなにとって「安心、安全で居心地のいい学校」になっていくのだと思います。

### ◎学校教育目標

- 1 心身共にたくましく心豊かな生徒を育成する。
- 2 基礎学力の充実を図り、自ら行動する生徒を育成する。
- 3 互いの人権を大切にし、仲間と共に成長する生徒を育成する。
- 4 地域とのつながりを大切にしながらかグローバルな視野を持つ生徒を育成する。

### ◎めざす生徒像

- ・「自他を尊重し、たくましくしなやかやかに生きる力を持つ生徒」
- ・「自律的に物事を考え行動し、自立した個として他と共存できる生徒」

## 1年生「社会福祉体験学習」(2月16日)

2月16日(木)に福祉体験を行いました。島本町社会福祉協議会の方とボランティアさんにご協力いただき、点訳、手話、介助の体験をしました。

点訳では実際に点字盤を使って文字打ちをし、生徒たちも初めての体験でとても興味深く取り組むことができました。また、盲導犬を連れた視覚障がいのあるボランティアさん(岡元さん)の貴重な話も聞くことができました。手話では簡単な単語を手話であらわしたり、手話を使って歌を歌ったりしました。また、耳の



聞こえない人の生活の様子を聞き、生徒たちは聴覚障がいをもつ方の生活について考えることができました。介助では実際にアイマスクをして白杖を持ち、視覚に障がいがある人の歩行体験をしました。実際に

目の見えない人が送っている生活の一部を体験すると同時に、となりにいる介助者のサポートの必要性を学ぶことができました。

今回の体験を、ただの「体験」として終わらせるのではなく、普段の生活の中で「助け合うことの大切さ」に気付けるような学年になってほしいと思います。

～生徒の感想(一部抜粋)～

もしも、自分が目が不自由になってしまったら、きっと不安で押しつぶされそうになり、生きる勇気も無くなってしまいます。でも、今回実際に目の不自由な方の話を聞いて、「たとえ、皆とどこかが違って、一生懸命に生きよう。人生を無駄にしたくない。」という強い意志を感じました。岡元さんは、今、支えてもらい、信頼できる人がいます。私も、障がいがある人でも心地よく、お互いのことを尊重しあえる社会を作っていきたいと思いました。

## いじめ防止の取組「いじめ防止ワーク」(2月24日)



いじめのない学校づくりをすすめるために、今回は体育館で「いじめの構造」を学んだ後、クラブ単位で「どのようにしたらいじめが起きないのか」を具体的に話し合い、発表しました。「自他を尊重する」ことを大切に話し合った内容を実行に移していきましょう。

## 「おめでとう」～部活等二中生の活躍～

○平成28年度全国中学校体育大会 第37回全国中学校

スケート大会 3位 3年 滝野 莉子

○卓球部：茨木三島1年生大会(2/5)

【女子個人戦】優勝 池田歩実

【女子団体戦】優勝

(メンバー) 池田歩実、山崎萌香、植村天音、尾崎碧泉、加島詩織、最上早苗

○男子バスケットボール部：高槻市・島本町中体連1年生バスケットボール大会(2/4, 12)  
第5位(ブロック1位)

○第63回三島地区読書感想文コンクール

特選 1年2組 田中 円「表紙から伝わること」

優秀賞 2年2組 中垣はるな「“It”なんて呼びたくない」

滝野さん、島本町長、教育長を表敬訪問 →

